

リーディングDXスクール事業【実践事例】

矢板市立片岡中学校

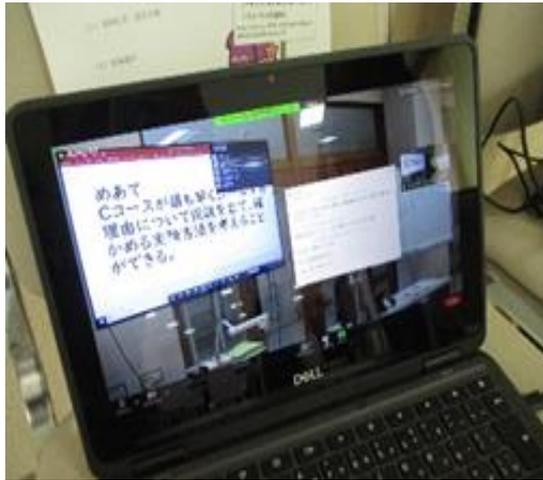
【取組内容①】理科 ニーズに基づいたシーズの在り方

【実践の目的】

本来のICTの役割は、あくまで生徒の授業でのパフォーマンスを最大限に引き延ばすためにあるものである。そのため、ニーズをしっかりと把握しそれに基づいた授業づくりを行うことを目的とする。

【実践内容】

意見を集めたいときはJamboard、意見を共有させたいときはスライド、意見が出にくい場面や仮説を立てさせる場面ではチャットなど、状況や発達段階に応じてつかうアプリを変更した。



【取組内容②】陸上競技部 自分の動きを客観的に把握する

【実践の目的】

自らの動きを撮影しスロー再生するなどして見直すことで、自分の動きを客観的に把握する。

【実践内容】

- ・走り高跳びの動きを撮影する。それを見直す。
- ・YouTubeなどで、模範的な動きの動画を見て、自分の動きと比較する。



【実践を振り返って】

☆ICT活用が有効であった点

- ・自分の動きは客観的に見るできないので、スロー再生することで細かな部分まで把握することができる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

矢板市立片岡中学校

【取組内容②】大学教授によるオンライン授業（理科）

【実践の目的】

- ・ウェブ会議ソフトで大学と中学校を結び、普段の授業では学べないような授業を行う。

【実践内容】

- ・オンラインで大学と中学校を結び、授業を行った。
- ・ウェブ会議ソフトのブレイクアウトルーム機能を用いて、講師の方がそれぞれのグループの話し合いに参加した。



【実践を振り返って】☆ICT活用が有効であった点

- ・大学教授による専門的な指導を受けることができた。
- ・オンラインのため、遠方の講師に指導を受けやすかった。交通費が不要なので
- ・ブレイクアウトルーム機能を用いて、それぞれの班ごとに指導をいただくことができた。

【取組内容③】保護者向けタブレット講座

【実践の目的】

家庭学習を充実させるためには、保護者の理解と協力が必要である。

そこで、1人1台端末の取扱いの理解と、適切な利用や家庭学習充実の協力のために保護者向けの講座を開講した。

【講座の内容】

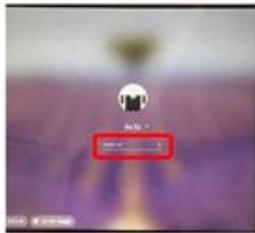
- ・生徒用一人一台端末の操作方法の理解
- ・AI型ドリルの学習記録の確認
- ・生徒の活動状況や履歴の閲覧方法
- ・アンケートの回答



1. ログインの方法

①Chromebookを開くと自動で電源が入ります。

②ログイン画面が表示されたら、パスワード入力し、Enterキーを押します。



パスワード入力をする



【実践を振り返って】

☆ICT活用が有効であった点

- ・生徒が家庭に持ち帰り、タブレットを使用する理解を得られた。
- ・保護者にもタブレットの操作方法を学んでいただけた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

矢板市立片岡中学校

【取組内容④】毎朝の情報の共有と「朝の打合せ」の廃止

【実践の目的】

毎朝の情報伝達を共有ファイル上で行うことで、朝の時間を有効に活用できるようにする。

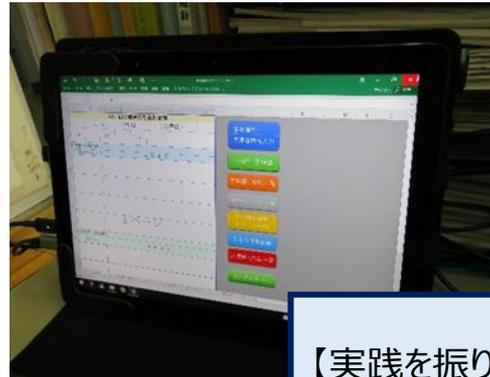
【実践内容】

- ・Googleスプレッドシートを使用し、共有化されたファイルに各係からの連絡や欠席者の連絡などをそれぞれが入力する。
- ・情報伝達を共有ファイル上で行うことで、それまで毎朝実施していた「朝の打合せ」を廃止した。

【使用したアプリ】

Googleスプレッドシート

	11月	令和5年度 朝の打合せ 学年連絡表 (共有済み 複数入力可)				2023年
月	第1学年		第2学年		第3学年	
1	欠席(理由)	遅刻・早退等	欠席(理由)	遅刻・早退等	欠席(理由)	遅刻・早退等
1						
2						
7						
日						
月						
1	欠席(理由)	遅刻・早退等	欠席(理由)	遅刻・早退等	欠席(理由)	遅刻・早退等
1						
2						
8						



【実践を振り返って】

☆ICT活用が有効であった点

- ・毎朝、担任は生徒の登校を教室で待つことができ、生徒と接する場面を増加できた。
- ・教師間での情報の伝達ミスが減少した。

【取組内容④】お便り（学校だより、学年だより等）のデジタル化

【実践内容】

- ・学校だよりや保健だよりなど、学校から発信する文書をPDF化する。
- ・Googleドライブに保存する。
- ・連絡メールシステムを通して、Googleドライブに保存したURLを保護者に伝える。
- ・保護者は自分のスマートフォンや自宅のPC等でお便りを確認する。

【使用したアプリ】

- ・Googleドライブ
- ・メール配信システム



【実践を振り返って】

☆ICT活用が有効であった点

- ・生徒数分を印刷して配布する手間が省けた。
- ・紙のお便りだと紛失してしまうこともあったが、保護者へ確実に情報を伝達することができた。

【取組内容④】欠席連絡フォーム

【実践の目的】

欠席連絡フォームを用いた欠席等の連絡により、情報の一元集約を図る。

【使用したアプリ】

Googleフォーム

【実践内容】

- ①Googleフォームで作成する。
- ②回答フォームのURLをコピーし、二次元コードを作成する。
- ③二次元コードを保護者に配布する。
- ④保護者は、配布された二次元コードからアクセスし、自分のスマートフォンやパソコン等を用いて回答する。
- ⑤回答後は、結果が自動的に集計され、クラス担任が確認する。

2セクション中1個目のセクション

矢板市立片岡中学校欠席連絡フォーム

・お子様の欠席・遅刻・早退の連絡は、前日の午後1時から当日8時10分までの間をお願いします。
 ・御兄弟姉妹のお子様も、欠席・遅刻・早退の場合、別々に入力・送信をお願いします
 ・必ず保護者の方が入力するようお願いいたします。
 ・入力内容によって、学校から連絡させていただく場合があります。
 ＊このページをお使いのPCやスマホのブラウザで、お気入りに登録されますと便利です。
 【＊テスト送信も受け付けております。その場合、欠席・遅刻・早退の選択欄は【テスト送信】をお選びください。】

日付を選んでください。

＊日付の下を押しますと月全体が表示されます。設定ボタンを押すと日付が決定します。

年月日



欠席・遅刻・早退の選択をお願いします。
 ＊テスト送信の方は【テスト送信】を選んでください。

 欠席

 遅刻

 早退

 【テスト送信】

理由をお書きください。(遅刻・早退の場合、理由と登下校の時間の記入をお願いします。)例：通院 10:30
 【＊テスト送信の方も記入をお願いします。】

記述式テキスト (短文回答)

【実践を振り返って】

☆ICT活用が有効であった点

朝の時間帯に、電話が繋がりがづらい状況が改善できた。

★ICT活用の仕方で工夫が必要であった点

質問内容の精選と、なりすまし防止のために連絡者の氏名を記載させる必要がある。

【取組内容④】心の健康観察

【実践の目的】

Google フォームを用いて、登校後生徒の心理状態を把握し、ケア体制の強化に努める。

【実践内容】

- ・生徒は登校後、Google フォームを用いて健康チェックを行う。クラス担任は、各生徒の心理状態を把握して、教育相談を行う。
- ・継続的に健康観察を行い、支援を必要とする子どもを早期に把握し、適切な支援を早期に開始するために活用する。

【使用したアプリ】
Googleフォーム

【実践を振り返って】

☆ICT活用が有効であった点
 ・支援を必要とする生徒を早期に把握し、家庭や関係機関との連携に生かすことができた。
 ・支援を必要とする生徒の心理面の安定につなげることができた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

矢板市立片岡中学校

【取組内容④】学校生活アンケート

【実践の目的】Google フォームを用いて、生徒の生活状況を把握し、いじめ防止・安全確保に努める。

【実践内容】

- ・月に一度、生徒はGoogle フォームを用いて学校生活に関するアンケートを行う。
- ・生徒指導主事は、各生徒の生活状況を把握して、毎週水曜に実施する生徒指導打ち合わせの場で周知する。
- ・その際、役割等を確認して課題解決に向けてチームで取り組み、進捗状況を確認し合う。状況が改善した場合はともに喜び、モチベーションの維持に努める。

【使用したアプリ】
Googleフォーム

1027学校生活に関するアンケート10月用

10月7日から10月27日金曜日までの学校生活について聞きます。秘密は守ります。
これまでのアンケートに記入したことは書く必要がありません。ただし、続いているから
かいやトラブルなどは記入してください。

共有なし

* 必須の質問です

氏名 *

必ず名前を書きましょう。 例 片岡 一郎

回答を入力

【実践を振り返って】

- ☆ICT活用が有効であった点
- ・生徒指導の課題を数値により可視化することができた。
- ・集計の負担軽減につながった。

【取組内容⑤】学校HPによる実践研究の紹介

【実践の目的】GIGAスクール構想により整備された1人1台端末とクラウド環境を活用した効果的な教育実践を広く保護者や地域に啓発する。

【実践内容】

ICT活用の推進を図る上で、家庭や保護者との連携・協力は不可欠である。そのためにも学校の取組の状況を「学校だより」やHPにより伝え、啓発していくことが大切である。

矢板市立片岡中学校

①矢板市立学校電子図書館
Yoda city digital school library
ともなりライブラリー

カウンタ

1 1 1 2 2 4 1

外部専門家によるオンライン授業（理科）

投稿日時：02/19 片 片中HP管理者 カテゴリ:今日の出来事

2月16日（金）に、宇都宮大学教授から、本校の3年生に直接御指導していただく指定校として研究を進めてきた「リーディングDXスクール事業」の一環を行うことができました。



学校の様子

全ての記事▼ 5件▼

情報モラルの学習（3学年）

投稿日時：2023/11/07 片 片中HP管理者 カテゴリ:今日の出来事

今年度、（株）スキット様より授業支援事業として、各学級への情報モラルに関する授業全学年一斉に講話をしていただきましたが、今回は学級ごとの実施です。

11月6日（月）は、3年生を対象に、位置情報アプリの問題や不適切動画の投稿など。生徒自身が考える場面があり、「位置情報は最大の個人情報」という言葉が生徒から

今後、学年に合わせた内容で事業をしていただきます。

